

2月20日

テーマ：大胆にみ座に

聖書箇所：ヘブル人への手紙10章22節

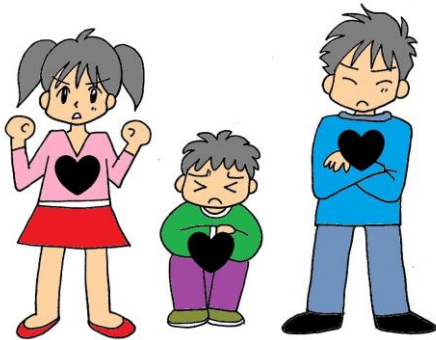
◆今日のみことば

全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。ヘブル人への手紙10章22節

◆メッセージ

私たちには知っていることも、知らないことも色々あります。友だちのこととか、将来のこととかたくさん知りたいですね。

けれども、私たちがどうしても知らなくてはならないことがあります。それは、「神さまに近づく」ということです。ヘブル人への手紙10章22節では「神に近づきなさい」といいます。この神さまは石や木で造った神さまでも、蛇やキツネの形をした神さまでもありません。



この神さまは十字架にかけられ、血を流されいのちを捨てたイエスさまです。もちろん、知っていますよね。それだけでなく、イエスさまは今ここにいる私たちのために血を流された方なのです。私たちの心の中にある「邪悪な良心」という悪い思いを洗いよめるために、血を注いでくださったのです。私たちは誰でも、悪い思いを心の中に持っています。例えば消しゴムで紙の上をこすって文字を消したり、せっけんで手を洗いきれいにしたりすることができます。しかし

心の中はどうでしょう。大人でも子どもでも、人には心の中まできれいにすることはできません。イエスさまが私やあなたの心の中の悪い思いを、せっけんではなく、ご自分の血によって洗い、きよめてくださるのです。私たちにはお父さんやお母さんにも、いや友だちにもいえない悪い思いがあります。私たちは叱られたり、嫌われたりすることがいやなのです。

しかしイエスさまは私たちの悪い心をきよくしたいと強く願い、十字架で血を流されたほどに私やあなたのことを心配し、思ってくれました。イエスさまはあなたの心の悪い思いをゆるし、雪のようにきれいにしてください。このイエスさまを知っていますか、イエスさまを受け入れていますか、信じていますか。イエスさまを信じていきましょう。

このようにイエスさまは私たちの心の悪い思いのすべてをきよめ、ゆるしてくださるからこそ、私たちは怒られたり、嫌われたりすることを心配しないで、素直に、大胆に神さまに近づき、祈ることができるのです。



◆お祈り

「私の心の中の悪い思いをきれいにし、ゆるしてください。これからもイエスさまを信じて、どんなことでも神さまに祈っていきます」。

(支援教師 加茂政幸)